

奥球磨駅伝 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

(出場校向け/6月1日現在)

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを回避し、地域住民や関係の皆さまにご協力いただけるよう大会運営を実施いたします。つきましては「奥球磨駅伝 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を策定いたしました。感染防止のため、本ガイドラインを遵守いただきますようお願い申し上げます。

1 大会中止の検討基準

概ね大会2か月前以降、下記の1項目でも当てはまる事態が生じた場合、実行委員会で開催可否の決定を行う。

- (1) 緊急事態宣言が発令された場合
 - ① 不要不急の外出自粛が全国的に要請された場合
 - ② 都道府県をまたぐ移動の自粛が全国的に要請された場合
 - ③ 全国的に学校において部活動が認められてない場合
- (2) 熊本県の非常事態宣言(県独自)が発令された場合
- (3) 開催地である奥球磨地域地(水上村、湯前町、多良木町、あさぎり町)において、新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整わない場合
- (4) 全国の感染状況を勘案し、大会に関係する選手やスタッフ、応援者、地域住民の安全確保が困難と予想される場合

2 参加資格

大会3週間前(9月12日(日)以降)に選手、監督及びチーム関係者が「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった場合には、次のとおり対応すること。

- (1) 感染者「9月12日(日)以降」
 - ・PCR検査/抗原検査において「陽性」反応があった場合、当該者の出場を認めない。
- (2) 濃厚接触者「9月18日(土)まで」
 - ・保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない当該者の出場を認める。
- (3) 濃厚接触者「9月18日(土)以降」
 - ・保健所から濃厚接触者と認められた場合、当該者の出場を認めない。
- (4) 感染疑い者「9月12日(日)以降」
 - ・感染疑い症状(発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等)が発症した場合には、インフルエンザ等の新型コロナウイルス感染症以外の感染症リスクも考慮し、原則として当該者の出場を認めない。

ただし、次の①及び②の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認める。

- ① 感染疑い症状の発症後から少なくとも8日が経過している。(発症日を0日として8日間のこと)

- ② 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後、少なくとも3日が経過している。(解熱日・症状消失日を0日として3日間のこと)

※選手、監督及びチーム関係者が「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった段階で速やかに大会事務局まで連絡する。

※提出された個人情報は、大会主催者が保健所や医療機関などの第三者への情報を提供する場合があります。

3 体調管理

- ① 選手、監督及びチーム関係者の日々の体調管理は十分に行うこと。

- ② すべての参加者に「新型コロナウイルス接触確認アプリ」(略称：COCOA)の導入(インストール)を推奨する。

- ③ 大会1週間前

- ・エントリー選手、来場する部員、監督、コーチ等は、大会1週間前の9月26日(日)～10月2日(土)まで毎日の検温等の健康観察を行い「体調管理チェックシート」を記入し、2日(土)の受付時に提出すること。

- ④ 大会当日

- ・エントリー選手、来場する部員、監督、コーチ等は、大会当日(3日)朝の検温等の健康観察を行い「体調管理チェックシート」を7時00分から8時00分までに受付に提出し、出場可否の最終判断を受けること。

- ⑤ 大会終了後

- ・大会終了後1週間(10月10日まで)は検温などを行い、健康観察を継続し「体調管理チェックシート」に記入する。万一、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合は、担当保健所の指導に従うとともに、主催者(熊本陸上競技協会)に報告すること。

4 会場内での感染対策

- ① 競技場や中継所など、各所に設置している消毒液を使用し感染防止に努めること。

- ② 来場するすべての人は、常時マスクを着用すること。なお、出場選手は、競技中(レース、ウォーミングアップ)においては、その限りでない(各中継所待機エリアはマスクを着用すること)。

- ③ 競技会場内にはゴミ箱は設置しないため、ごみは各自持ち帰るようにすること。

- ④ 常時、身体的距離(概ね2m以上)を確保することを意識すること。

5 来場者数の制限及びADカード(入場許可証)の交付

(1) 来場者数

■感染リスク低減の観点から各学校の来場者を制限する。

- ① 高校の部16名以内【監督・コーチ等2名、選手14名】

- ② 大学・実業団の部10名以内【監督・コーチ等2名、選手8名】

(2) ADカードの交付

- ① ADカードは、2日(土)受付時に「体調管理チェックシート」と引き換えに上限の枠内で交

付する。

② 大会会場（多良木町役場付近）や各中継所にはADの保有者以外は入場できない。

6 大会日程

(1) 大会前日（10月2日）

- ① 受付 13時00分～14時30分 多良木町多目的研修センター2階研修室
- ② 監督会議 16時00分 多良木町多目的研修センター2階研修室
- ③ 開会式 17時00分 多良木町多目的研修センター2階研修室

(2) 大会当日（10月3日）

- ① 受付 7時00分～8時00分 多良木町多目的研修センター2階研修室
- ② スタート 10時30分 多良木町役場前
- ③ 閉会式兼表彰式は、競技終了後、ただちに行う。

7 宿泊・行動について

(1) 宿泊制限

■感染防止対策のため、宿泊斡旋人数を制限する。

- ① 高校の部16名以内【監督・コーチ等2名、選手14名】
- ② 大学・実業団の部10名以内【監督・コーチ等2名、選手8名】

(2) 宿泊日数

・宿泊については、10月1日（金）から3日（日）までの最大3泊とするが、大会前日の2日（土）の1泊を基本とし、極力減らすようにすること。

(3) 宿泊施設の利用など

- ・宿泊については、エントリーと一緒に事務局へ直接申し込むこと。
- ・旅館及び民宿の宿泊は、各客室3名程度の利用を原則とする。なお、体調不良者が発生した場合には、別室を用意して利用すること。
- ・ホテルの宿泊は、各客室1名（ツイン2名）での定員利用を原則とする。
- ・宿泊施設の利用にあたっては、感染防止対策を徹底すること。

(4) 球磨人吉地域の行動

- ・外食など、練習以外での不要な外出を控えること。
- ・移動は、チームバスやタクシーを利用すること。

(5) コース試走

- ・試走は、大会前日とし、それ以外は控えること。

8 競技注意事項

(1) スタート時や中継所での対応

- ・スタート前は極力、密にならないように注意した上で、審判員の指示に従う。また、各区間スタート直前まではマスクを着用すること。
- ・中継所において、番号を呼ばれて中継線に移動する際にマスクを外しても良い。また、マスクは

ユニフォーム内に入れる等して保管すること（手に持って走ってはいけない）。

- ・タスキの受け渡しの際には、次走者による前走者への呼びかけ行為は行わない。

（２） 大会当日の選手輸送

- ・各区間の移動は、多良木町民体育館で第１次点呼を行いバスで移動する。なお、バス乗降の際は設置の消毒液で必ず手を消毒したうえで、会話を控える。また、マスク着用は義務とする。その他、役員の指示に従うこと。

（３） ADの着用の徹底

- ・ADの前日受付時に配布する。競技場や体育館、中継所、待機場所などの入場はAD着用者のみとする。なお、ADをつけていない者の入場は認めない。

（４） 計測チップの回収

- ・計測チップ付帯のナンバーカードは、コロナ対策として各中継所でスタッフによる回収は行わないため、各自で持ち帰ること。

9 応援について

- ① 感染拡大防止対策のため、大会会場（多良木町役場付近）の入場は禁止し、沿道での応援も自粛する。住民の皆様にご協力いただきレースを開催するので、応援について遵守すること。
- ② 放送は、TKUテレビ熊本でネット中継するので、配信での観戦をお願いする。
- ③ 応援自粛のため、駐車場も一切用意しない。

10 新型コロナウイルスに関する個人情報の取り扱い

- ① 本大会で取得した個人情報は、競技運営目的以外に感染症予防対策目的に使用する場合があります。
- ② 本大会で取得した個人情報は、大会主催者が保健所や医療機関などの第三者へ情報を提供する場合があります。
- ③ 本大会で取得した個人情報は、大会終了後一か月間保管する。
- ④ 保管期間を過ぎた当該情報は、大会主催者が責任を持って適正かつ速やかに廃棄する。

11 その他

- ① マスクは各自で用意すること。
- ② 出場団体は、体温計を持参すること（当日の検温に必要）。
- ③ 使用済みマスクやティッシュ等を捨てるためのごみ袋を用意すること。
- ④ 今後の感染状況によっては、出場を見合わせていただく可能性がある。
- ⑤ 大会実行委員会では、マスク廃棄などのごみ箱は準備しないため、必ず持ち帰ること。

12 免責事項

- ・大会主催者は出場選手、出場関係者、競技運営関係者の感染に対するいかなる責任も負わない。